受付番号	農業委員会委員候補者										推薦者								
					経歴		農業経営の状況		青森市認定農業者	推進委員併願	推薦・応募理由等	抱負	一般推薦				団体推薦				
	氏名	性別	年齢	職業	年月	職名・役職等	営農類型（主な経営作物）	経営規模					推薦者代表氏名	性別	年齢	職業	団体の名称	代表者等氏名	活動の主たる目的	構成員	
																				人数	資格・要件等
1	秋谷　進	男	81	NPO法人役員	S43.4.1 H13.4.1 H15.4.1 H16.4.1 H19.6.1 H26.4.1 H30.4.1～	青森県庁入庁 青森県農業試験場長 青森県農林水産部長 青い森農林振興公社理事長 むつ小川原原燃興産㈱監査役 NPO法人青森成年後見センター理事長 青森市農業委員	中立委員の応募のため無し	－	－	－	▼応募理由…　農業委員の役割も農地利用最適化業務に比重が増加しており、当浜館地域においても「地域連携リーダー」と協力して「地域計画」づくりをすすめてきたところであります。今後は、地域の実情に合わせた完成度の高い「地域計画」にすべく、令和10年度を目標に取り組みを強化したいと思っております。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価…県庁で主に担当していた業務は各試験場(農業・畑作園芸・花き・りんご・畜産)で実施する試験研究課題の設定、調整でした。研究課題の設定にあたっては相当内容まで入り込む必要があり、この業務を通じて農業全部門についての知識は深まったと思っております。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価…　地域計画づくりのためには地域の実情に詳しい「地域連携リーダー」の協力が不可欠と考えております。そのため、浜館5地域において「リーダー」の選任を行いました。他の2地域においても選定をすすめております。また、多面的交付金を活用する母体として戸山地域を中心に「戸山崎農地水保全会」（以下「保全会」）の設立の働きかけを行い、令和5年3月26日に設立されました。現在、保全会が中心となり「用水路の泥あげ」「草刈り」などが行われており、地域の農業環境も徐々に整備されてきております。今後は当「保全会」を中心に地域の農地利用のあり方などにも取り組みを広げていきたいと考えております。	当市の農業は八甲田山麓に連なる低未利用山地に広大な放牧地が賦存し、むつ湾の周りに米・りんご・野菜などの一大産地が形成されております。しかし，冬期間の積雪の影響もあり施設園芸があまり定着しておらず、肉牛経営も一時期に比べると細々とした状況にあります。一方、米については大規模経営が増加しており、りんごについても旧浪岡町を中心に一大りんご生産地帯が形成されております。しかし、今後ますます進行する高齢化、担い手不足に対処する方策（経営方式）を第一義として、米についてはこれまで以上に大規模化と集落営農を推進する必要があり、基盤整備の推進が最も重要な課題としてあげられます。りんごについてはこれまでの高品質化・効率化に引き続き取り組む他、高密植栽培による大規模化に取り組むこともこれからの推進方策の一つとしてあげられます。転作田の活用による畑作(ソバ)、野菜(ニンニク・タマネギ)への取り組みの強化、畜産については共同経営による放牧肉用牛(日本短角種)による赤身肉の銘柄産地づくりの推進などにより、青森市という大消費地の強みを生かしていろいろな形での都市近郊型農業を推進していくことが重要であると考えています。									
2	堀内　俊春	男	55	農業	H29.5～ R3.10～ R6.4～	認定農業者 浪岡川土地改良区理事に就任 青森市農業委員	水田作（水稲）	水稲1,849a	該当	－	▼推薦理由…　本区域の農業後継者として農業発展に努力していることや、地区の代表として当土地改良区の理事に就任し現在まで5年間努めていること、地元からも将来性を期待されていることから適任であると認め推薦します。 ▼農業に関する知識・経験に対する評価…　農業後継者で認定農業者として地域の営農に努力しており、地元からも将来性を期待されている。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する評価…　当土地改良区の理事に就任し、土地改良事業を積極的に推進したいと考えていることや、地元からも将来性を期待されている。	農地利用集積を強化し、農業の経営規模拡大と安定した農業経営につなげたい。また、不耕作地の未然防止に努めていきたい。				浪岡川土地改良区	小倉　尚裕	農業水利施設の維持管理	1,532	主に水田の所有者または耕作者
3	千島　修	男	69	農業	H29.4～ H31.4～ H31.4～ R3.4～ R8.4～	青森県農業共済組合清水地区共済部長会会長 青森県農業共済組合総代 青森市北後潟農事振興会会長 青森市農地利用最適化推進委員 青森市北部土地改良区理事長	水稲 そば 野菜	水稲144ａ そば120ａ 野菜10ａ	－	－	▼応募理由…　令和3年4月から農地利用最適化推進委員を2期務め現在に至っています。推進委員の活動を行って地元農家や農業に興味を持つ方々の意見を聞き多少ながらアドバイスをして来ました。この度、地元から農業委員として活動してきた工藤隆志委員から農業委員で活動してみてはとアドバイスがあり、推進委員で培ってきた活動経験を更に広めて地元だけでなく青森市全体の農業発展に貢献したいと思い応募いたしました。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価…昭和55年より会社勤めをしながら父親の農業を手伝ってまいりました。父親が亡くなってから地元農家と情報交換をしながら、農業、特に稲作に対する知識を身に着けてきました。また、推進委員を2期務めた経験で地元農家から相談を受ける立場となっております。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価…　令和3年4月から農地利用最適化推進委員を2期務め現在に至っています。推進委員の活動を行いながら地元農家の相談を受け、アドバイスできるまでになりました。	私はこの地域で農地利用最適化推進委員を2期務めてまいりました。委員活動を行って来て、この委員活動を足場にして、農業委員として活動範囲を更に広範囲に広めて青森市の農業の持続発展に少しでも貢献できればと思っております。								

受付番号	農業委員会委員候補者										推薦者								
	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		青森市認定農業者	推進委員併願	推薦・応募理由等	抱負	一般推薦				団体推薦				
					年月	職名・役職等	営農類型（主な経営作物）	経営規模					推薦者代表氏名	性別	年齢	職業	団体の名称	代表者等氏名	活動の主たる目的	構成員	
																				人数	資格・要件等
4	安部　浩一	男	66	専業農家	H14.3～ H21.4～ H21.4～H30.3 H31.4～ H31.4～ H31.4～ R3.4～ R4.1～ R7.2～	就農 JA青森農協総代 青森市農業委員 市民センター合子沢分館長 多面的交付活動組織「平成合子沢保全会」会長 合子沢財産区議会区有地調査特別委員会委員長 青森市農業委員 合子沢町会副会長 青森市認定農業者協会会長	稲作	36ha	－	－	▼応募理由…　次世代農業者と農業委員を育成、又、現在の農業者のより良き相談相手としてもう少しがんばりたいと思った。又、農地法などの法の間の中で農業者に的確なアドバイスが出来るようにしたいと思った。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価…常に勉強会の参加、研修、視察などに参加し、新しいものへのチャレンジや、若手や高齢者農業者へのアドバイスや相談をかかさないようにして地域の問題にチャレンジして解決に向けていると思う。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価…　担い手の育成につとめ、2名の40代の若手農業者を育て、又、地域の相談役につとめ、問題解決に尽力して行った結果、耕作放棄地の減少、若手の中心経営者への移行もうまく行っている。	地域の農業者の代弁者となり、大なり、小なり農業者のかかえる問題に正面から向き合い少しでも力になれるようにがんばりたい。								
5	大柳　建秀	男	70	農業	S53.4.1 H21.4.1 H28.3.31 R2.1.8 R2.11.24 R3.4.1～	青森県農業会議勤務 青森県農業会議事務局長 青森県農業会議退職 農業開業 認定農業者（令和7年11月23日まで） 青森市農業委員	野菜作（枝豆） 果樹作（りんご）	野菜5a 果樹11a	－	－	▼応募理由…　農業委員2期目を経験し、引き続き農地利用の最適化推進のため、優良農地を守り有効利用に結びつける活動の一翼を担っていきたいと考えています。 　このため、当面、目標地図の精度向上や、担い手への農地集積・集約化を進めていく地域計画のブラッシュアップの取り組みに役割を果たすため、話し合いの促進とマッチング活動を行うとともに、認定農業者、新規就農者など担い手の経営確立を支援することにより、本市農業の活力ある発展に寄与したいと考えます。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価…農地法令、農業者年金、簿記記帳と青色申告、農業経営の法人化、収入保険制度など、優良農地を守り農業経営の安定と農家生活に役立つ制度について、担い手をはじめ農業者へ的確に助言することができます。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価…　農業委員として、地域計画策定のための話し合い活動への参画、担い手と出し手のマッチングと成立後の事務手続きに関して支援を行い、農地集積活動に貢献することができました。また、担い手に対し、青色申告、農業経営基盤強化準備金などの農業税制、収入保険や収入減少影響緩和対策など経営安定制度の普及、活用促進に取り組んできました。	本市農業の活力ある発展に寄与するため、農業委員会の総意によって策定された農地利用最適化推進指針に基づき、次の取り組みに力点を置きつつ、与えられた活動を実践します。 ①食料自給力の強化は、担い手なくして実現しえないものであることから、その確保・育成に努め、担い手のよき相談相手として、農地集積・集約対策、農業経営安定対策などに関し、的確に助言し、制度の普及に努めてまいります。 ②山林化して数十年経過するなど、再生困難にして食料生産に寄与しなくなった農地の非農地判定を促進し、現下の優良農地を守ることに力を傾注することにより食料供給の安定を推進します。 ③地域の農地にツキノワグマの足跡、排泄物といった出没の痕跡が目立ってきており、いつ襲われるとも知れない恐怖から、畑作から撤退する農家と不耕作地が増加し、遊休農地の拡大が進行しています。農業委員会法第38条に基づく行政機関への意見の提出を通じて、農地をはじめ生活圏へのツキノワグマ侵入を防除する対策を一層進める必要があります。								
6	木村　孝芳	男	70	農業	S56.3.1 S56.4.1 H29.3.31 H29.4.1 R5.6.8 R6.4.1	京都大学法学部卒業 青森県庁入庁（漁政課、企画課、人事課、商工政策課、地方課、高齢福祉保険課、医療薬務課等） 青森県庁定年退職 実家の農業(稲作・畑作)を継承 森林組合あおもり理事就任（現在2期目） 青森市農業委員就任	稲作 畑作（水稲、トマト、スイカ、大豆、なす、かぼちゃ他）	水田3ha 畑1ha（家族所有含む）	－	－	▼推薦理由…　被推薦人は両親が専業農家であり、農業を兼業として手伝ってきて、都合50年以上も農業経験がある。県庁退職後も自ら主体的に農業に取り組んでいるほか、農業委員会の斡旋を受けるなどし、田畑の周辺農地の購入をするなど、規模拡大も図っている。 戦後農政の基本路線であった自作農を現在でも続けており、農業に対する情熱を持ち続けていて、農業委員会委員としては、農業環境の厳しさや課題の多い時代においても、現場を知る者として最も相応しいので、推薦するものである。 ▼農業に関する知識・経験に対する評価…　浜館地区において「まっしぐら、もち米」も作付けするなど先進的、進取の気性に富んでいる。また、みちのくクボタ主催の展示会は毎年参加する他、秋田県の種苗交換会には昨年鹿角市も見学しており、今年11月も由利本荘市での同会に参加予定である。この他、盛岡高等農林史料館は折に触れ訪問し、北東北の農業の歴史や人物に触れていると伺っている。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する評価…　JAの研修会に参加する他、地域においては県立保健大学学生のアルバイトを多く雇用するだけでなく、労働を通して食糧の大切さを実践を通して学ばせるほか、令和5年からは大阪公立大学農学部の大学生を農業研修させる取り組みを始めている。今年の稲刈には名古屋大学、東大農学大学院修士2年生も参加していると、聞いている。さらに全国の国公立の農学部及び農学関連学部を見学している（今年11月の高知大学ですべて見学するという。）	少子高齢化など日本農業を取り巻く環境が大きく変化するなど、国内農業は肥料や農業資材、農業機械価格の高騰、後継者難など課題が山積しています。こういう中においても、少しでも本市農業の発展及び食糧自給率の向上に貢献したいとの思いのほか、地域農業の再生の道筋を農業委員の立場で打ち立てていければという強い自負を、農業委員会委員及び職員と共に形にしていければと願っています。困難な時代情勢においても、明治の著名な農学者である横井時敬の「土に立つものは倒れず、土を活かすものは飢えず、土を守るものは滅びず」の名言を胸に秘めて取り組みする所存である。また青森市議会の議決を経て就任する立場上、農業委員会総会では議論の活発化に役立ちたいと思っている。	阿保　儀和	男	68	戸山崎農地水保全会会計（元JA青森中央南支店長）					

受付番号	農業委員会委員候補者										推薦者								
	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		青森市認定農業者	推進委員併願	推薦・応募理由等	抱負	一般推薦				団体推薦				
					年月	職名・役職等	営農類型（主な経営作物）	経営規模					推薦者代表氏名	性別	年齢	職業	団体の名称	代表者等氏名	活動の主たる目的	構成員	
																				人数	資格・要件等
7	工藤　隆正	男	67	農業	S58.4～ H7.7～ H21～ H28～ H30.4～ R6.4～	就農 認定農業者（青森市）6回 青森県農業機械士連絡協議会会長 新城下町農事振興会会長 青森市農地利用最適化推進委員 油川ほ場整備組合会計	水稲	40ha	該当	－	▼応募理由…　青森市西部地区は全くほ場整備が進んでいませんでしたが、この度、油川地区がやっとほ場整備することとなりました。今後も油川第2、羽白地区、天田内地区のほ場整備を積極的に推進していきます。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価…米穀検査機関の検査員をしていますので、農家とのかかわりが多く、いろいろアドバイスしている。乾田直播の経験を生かして省力化したい人の手助けをしたい。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価…　集落協定、保全会を立ちあげて、地域の活性を図ってきました。そして、少しずつそれらの面積を増やしてきました。	推進委員を三期やった経験を生かし、これからは青森市全体の農業の発展に尽くしたい。 私の一番得意な耕作放棄地の再生作業を広めていきます。（今までに50ha実施、整備含む）									
8	一戸　昭憲	男	69	農業	H13～ H27～ R3～	認定農業者 青森市農業委員 丸生共同防除組合長	果樹（りんご）	3.5ha	該当	－	▼推薦理由…　町内会役員として諸行事を取り仕切り、特に草取り作業、ゴミ拾い活動、体育大会の参加又若手農業後継者のりんごせん定指導等地区コミュニティーに率先活動されている。 ▼農業に関する知識・経験に対する評価…　若手後継者や吉野田りんご支会へのせん定指導や共同防除組合長として放任園地、ふらん病撲滅等精力的に実践されている。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する評価…　町内会副会長、吉野田八幡宮総代、共防組合長として幅広く町内会活動や農業関連行事に参加指導している。	耕作放棄地、不耕作地を減らす。新規就農者を増す。 離農を考えている人に第三者継承をすすめていきたい。				吉野田町内会	一戸　悟	会員相互の親睦を図り各事業の円滑な運営と振興をもって社会福祉事業増進に寄与する	850	吉野田町内に居住する人
9	佐々木　孝悦	男	66	農業	H19.4～ H19.4～ H21.4.～ H24.5 ～R9.3 H30.9～	飛鳥町会役員（会計） 飛鳥水土里保全隊役員（事務局） 飛鳥農事振興会役員（会計） 奥内土地改良区職員（事務局長） 奥内土地改良区職員（退職予定） 青森市消防団奥内分団（分団長）	水稲	4.6ha	該当	－	▼推薦理由…　農業委員は、農地転用や農地に関する許認可等で土地改良区の運営上密接な関係が多いことから、本土地改良区の職員として活躍し、飛鳥農事振興会役員及び飛鳥地域水土里保全隊役員を歴任している佐々木孝悦氏を本土地改良区では適任者として推薦するものである。 今後も地域農業発展のための活躍が期待できる。 ▼農業に関する知識・経験に対する評価…　永年に亘り土地改良区職員、農事振興会役員として地域農業に携わり役職を務め、人脈は広く、また、地域の農家の事情を把握し高齢農家からの相談を受けたり、リタイヤ農家へ手を差し伸べる等の行動には信頼が厚い。これら地域農業で培われた経験や知識は非常に豊富である。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する評価…　地域で取組んでいる飛鳥・水土里保全隊発足当初から役員を務め農業者と地域住民の結束に尽力し、地域発展のための活動に努めている。この実行力や行動力は、リーダーとしての力の豊かさである。	農業経営が厳しい中で、農業・農村の代表として農業者の農地維持・生産・販売の向上、又、遊休農地の解消・新規就農者の育成確保、担い手農業者の農地利用・集積で農地の減少確保に努め、情報の収集・提供をして農業者の生活向上に頑張ります。					奥内土地改良区	理事長　溝江　幸敏	農地の基盤整備・農業水利施設の維持管理	692	主に水田の所有者又は耕作者

受付番号	農業委員会委員候補者										推薦者								
	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		青森市認定農業者	推進委員併願	推薦・応募理由等	抱負	一般推薦				団体推薦				
					年月	職名・役職等	営農類型（主な経営作物）	経営規模					推薦者代表氏名	性別	年齢	職業	団体の名称	代表者等氏名	活動の主たる目的	構成員	
																				人数	資格・要件等
10	安田　昌樹	男	46	農業	H19.4.1 ～H20.3.31 H19.9.25～ H22.2.28 ～R7.2.28 H22.3.18 ～H27.3.18 H22.4.1 ～H23.3.31 H23.4.1 ～H31.4.30 H23.4.1～ H27.4.1～ H29.4.1～ H30.4.1～ H30.4.1～ R5.4.1～	黒石4HC会長 認定農業者　認定番号29-23 青年農業士 浪岡地区わい化研究会世話人 青森市農業後継者の会会長 JA青森浪岡地区りんご部会班長 JA青森浪岡地区総代 魁・安田塾塾長 弘果弘前中央青果出荷組合一心会会長 突破組合組合長 青森市農業委員 りんご丸葉栽培勉強会会長	果樹 (りんご)	樹園地 245a	該当	－	▼応募理由…　これまで農業委員を3期務めてきましたが、耕作放棄地の発生原因は後継者不足や農家の高齢化などいろいろな理由があり、一度耕作放棄地が発生してしまうとすぐに回復することが難しいということを実感してきました。 　耕作放棄地の発生防止や解消の為には農地の引き継ぎを円滑に行うことが重要であり、私自身も農業委員として引き続きこれらの課題に取り組みたいと思います。 　これまでの活動において、農地に関する相談を受ける機会も増えてきていることから、農業委員として地域に認識されてきていると思います。これからも地域の農業者の力になれるよう、農業委員としていろいろな課題に取り組みたいと思い応募しました。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価…　就農して約25年りんご栽培を続けていますが、年々厳しくなる環境変化により、りんご栽培は難しくなってきています。その為、昔からある普通樹（丸葉栽培）を今一度見直し研究する勉強会を同世代の農家と立ち上げ情報交換をしています。 　また、りんご栽培に活かす為、他品目の農家との交流を深めて病害虫などの情報収集を行い、他のりんご生産者と共有しています。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価…　農業委員で担当している地域だけではなく、他地域の農家からも栽培や農地の事で相談を受けたり、新規就農の相談を受けたりする機会が増えてきており、農業委員として地域に認識されてきていると思います。	私は農業委員を3期約9年、常に農業委員としての自覚と責任を持って、浪岡地域の農地確認などを行い、耕作放棄地の解消といった取り組みを続けてきました。 　これまで活動してきて、農地などの問題は私一人の取組だけではなく、地域全体で取り組まなければならないという事を強く感じました。地域で取り組むためには、それぞれの農家が農地を大切にする意識を持ち、地域全体の課題を共有することが必要です。そのためにも年齢に関係なく、様々な年代間でのコミュニケーションが必要であると思います。 　私はこれまで様々な団体や活動に参加し、諸先輩や若手生産者との交流を深めて各世代の農家と信頼関係を築くことに努めてきました。この経験を活かして各世代の橋渡し役や調整役として地域農業の課題解決に貢献したいと思います。 　日頃から若手生産者と栽培に関することだけでなく、耕作放棄地といった農地に関することなどの地域全体の課題についても話をしてコミュニケーションをとることで問題意識を持った次世代の地域の担い手育成を支援し、将来に向けて地域全体で農業の様々な課題に取り組めるような活動を私自身がすることで青森市の農業の活性化に貢献したいと思います。									
11	梅山　正志	男	48	農業	H8.3 H24.4～	青森山田高校卒業 高校卒業後約3社ほどの民間会社経験 農業就農	畑作 （長ネギ、イチゴ）	機構を通して約1ha 親戚等の耕作6aほど	－	－	▼推薦理由…　梅山氏は、農地を所有せずをモットーに掲げて新規就農以来農業（長ネギ、イチゴ）を続けてきたという。その中で、新規就農後、農業から撤退する人も数多く見てきたとも。農業人口が減少する環境下で新規就農はたやすいことではないと基本的に思っている。機構を通してさらに規模拡大を目指して邁進していきたいという希望も抱いている。同時に新規就農する人の手本になれるよう頑張るつもりでもあるとも言っている。 ▼農業に関する知識・経験に対する評価…　ネギとイチゴでは生計を維持できるようになっており、他県の産地（埼玉県深谷市、秋田県能代市）などへも研修していて、常に勉強を続けている。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する評価…　日々の農業活動を通して、青森県営農大学校の研修を受け入れるなど後進にも技術や精神など伝授している。	私は、農業人口が減る中では農地を持たなくても経営していけるということを世間に知らしめたい。新規就農が市の農業政策の根幹でもあることから引き続き土地を持たない人たちへも自分の持っている技術や精神性を与えつつ、惜しみない努力を続けていきたい。	阿保　儀和	男	68	戸山崎農地水保全会会計（元JA青森中央南支店長）					
12	鹿内　博英	男	66	農業	S53.3 S55.12 R2.3 R2.4	青森県立青森北高校卒業 日本電信電話公社入社 NTT東日本退職 農業就農	田（米） 畑 （トウモロコシ、枝豆、トマト他）	米自己所有と親戚分で約1ha、野菜は約10a	－	－	▼推薦理由…　鹿内さんは、父親が生きていた時からも、電信電話公社に勤務しながらも、親戚分も合わせて約1町歩の田んぼと畑1反部を家族で今まで耕作してきたほか今に至る。ほかに、周囲の浜舘地区の田んぼが、ほとんど不動産の仮登記がついている中で、環境が悪い中でも米作りを続けている。 ▼農業に関する知識・経験に対する評価…　親や家族と一緒に米作り、野菜つくりをしてきてはいるが、スマート農業についても積極的に取り組んでいきたいという積極的な面も持ち合わせている。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する評価…　駒込地区においても、大きく委託している他者に田んぼを貸し出すことをしないで、自分でできることは全部自分で耕作してきたという自負がある。地域のコメ作りを先導してきた自負がある。	私は、祖父母の代から浜舘小学校の通学路沿線の浜舘地区で田んぼを耕作しているが、用水の水が環状線と高速道路を横切って来ていることから、水の流れが円滑でもない時が多く難儀している。このため、この地域で田んぼを細々と耕作している人々にとっても水の流れを円滑にすることと、排水の流れをよくすることに努めていきたい。また地域の水田耕作者のためになることを農業委員として取り組みたい。	阿保　儀和	男	68	戸山崎農地水保全会会計（元JA青森中央南支店長）					

受付番号	農業委員会委員候補者										推薦者								
	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		青森市認定農業者	推進委員併願	推薦・応募理由等	抱負	一般推薦				団体推薦				
					年月	職名・役職等	営農類型（主な経営作物）	経営規模					推薦者代表氏名	性別	年齢	職業	団体の名称	代表者等氏名	活動の主たる目的	構成員	
																				人数	資格・要件等
13	齊藤　光朗	男	71	農業	S48 S58 H9.8.27～ H13.4.25 H19.4.10 H27.1.27 H27.6.27 R3.6.26	就農 中弘南黒青年団体連絡協議会会長（～S60年） 浪岡町農業委員当選 浪岡中学校PTA会長（～H14年3月） 青森市農業委員会農業振興部会長（～H20年9月） 青森市認定農業者協会副会長（～H29年） JA青森理事（～R8年6月） JA青森代表理事常務（～R6年6月）	果樹栽培（りんご）	りんご園186a等	該当	－	▼応募理由…　現在本市では、水田は大規模稲作農家に集約が進んでいますが、りんご畑は受け手が少なく廃園が増えています。これを仲介してこれをいくらかでも少なくしたいと考え応募致しました。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価…りんご基幹青年の研修終了後も認定協会、わい化研究会等の研修に積極的に参加しています。4年前から高密植栽培に挑戦中。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価…　中山間直接支払い制度の組合長を二十年、りんご支会長を四十年、果樹共済の組合長を二十年程やらせてもらっていますが後継者いないのが辛い。	現在耕作されている水田、りんご園は長い時間と労力をかけて先人達の努力の結果で地域の財産ですが、担い手がいないことで耕作放棄地が増えていることは大変残念です。特にりんご園は放任園となり、回りの園地に対する悪影響を考えると伐採、伐根は必須です。これを出来ない人に替わり実施するシステムを行政、農業者、等で構築できないものかと強く思います。									
14	小泉　徹郎	男	57	病院事務	S57.3 S60.3 S63.3 H6.3 H6.4 H22.11 H22.11 H23.3 H25.8	青森市立幸畑小学校卒業 青森市立筒井中学校卒業 青森県立青森高等学校卒業 八戸大学商学部卒業 株式会社角弘入社 株式会社角弘　一身上の都合により退社 青森県「新規就農研修」参加 青森県「新規就農研修」研修終了 医療法人芙蓉会村上病院入職	野菜作（トマト、キュウリ、ナス、ジャガイモ） 果樹作（ぶどう）	トマト10a キュウリ2a ナス2a ジャガイモ6a ぶどう40a	－	－	▼推薦理由…　徹郎は私（小泉作郎）の長男です。平成25年より徹郎には野菜主体に畑作を手伝ってもらっています。ぶどう作も草かり農薬散布等は主にやっており、農業委員の仕事にも役立つと思います。 ▼農業に関する知識・経験に対する評価…　平成22年の青森県（新規就農研修）に参加した知識を如何し農作業しています。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する評価…　幸畑熊野宮に寄付しています。	私は平成25年から父の農業を手伝い、農作業や農業経営の大変さ、地域の農業が抱える課題を身近に学んできました。また、県の新規就農研修にも参加し、農業に関する知識や技術を学びました。父が高齢となったことから来年度より農業を引き継ぐ予定です。 これまでの経験を活かし、農業者の立場に寄り添いながら、担い手の確保、農地の有効利用、耕作放棄地の防止など、地域農業の維持と発展に貢献したいと考えています。 農業者の声を丁寧に聞き、公平な立場で活動できる農業委員を目指します。	小泉　作郎	男	89	農業					
15	成田　貴吉	男	55	農業	H24.4.1 H26.4.30 H27.2.3 H27.4.1 H30.4～R3.3 R3.4.1 R5.2.16 R6.4.1	就農 認定農業者 浪岡地区りんご共同防除連絡協議会総務 吉内りんご協議会役員 青森市農地利用最適化推進委員 青森市農業委員 株式会社ネクストアップル代表取締役 浪岡商工会理事	果樹栽培（りんご）	果樹365a	該当	－	▼応募理由…「農業を通じて、日本を心豊かな若者が多い国にしたい」 父が亡くなり、りんご農家を継いだ時の私の志です。 日本で農家の後継者不足が叫ばれて、いよいよ限界に達します。浪岡地区でも、農地の廃園が免れない状態となっています。私は、高齢農家の園地を次の世代に繋げる仕組みづくりに挑戦してきました。 微力ではございますが、この挑戦で得た経験を青森市の農地利用最適化施策の一助となればと思い、応募しました。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価…8期青森県りんご剪定士として、海外や青森県内外のりんご園を視察し技術と知識を研鑽している。 青森市剪定大会では、講師を務めている。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価…　これまでに、青森農協理事、本郷小学校PTA副会長、浪岡消防団5分団班長などを任され、地域に貢献している。 小学校の体験学習、営農大学校の研修受け入れ、大学のインターンシップなど農業教育も行う。また、新規就農希望者を受け入れ、高齢りんご農家の園地を引き継がせた。	3期に渡り、青森市農業委員会の活動をしてきました。 この経験を活かし、青森市の農業が、高齢化による理由で衰退することに歯止めをかけ、若い人材や新しい組織が参入できるよう、頑張りたいと思います。									

受付番号	農業委員会委員候補者										推薦者								
	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		青森市認定農業者	推進委員併願	推薦・応募理由等	抱負	一般推薦				団体推薦				
					年月	職名・役職等	営農類型（主な経営作物）	経営規模					推薦者代表氏名	性別	年齢	職業	団体の名称	代表者等氏名	活動の主たる目的	構成員	
																				人数	資格・要件等
16	古川　竜大	男	40	農業	H28.1 R5.4～ R8.4～ R8.4.11	就農 りんご丸葉栽培勉強会副会長 杉高りんご支会副会長 認定農業者（認定番号2026-11号）	果樹（りんご）	樹園地160a	該当	有	▼応募理由…　りんご農家として日々農業に取り組む中で高齢化や後継者不足が増え、その為、耕作放棄地の増加に繋がっていると考え、地域農業が抱える課題を身近に感じています。地域の農業を取り巻く環境が厳しくなる中、農地の有効活用や担い手不足などの課題について自分にもできることがあれば取り組みたいと考え応募しました。 　農地の適正な利用や地域農業の維持・発展に少しでも貢献していきたいと考えています。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価…　就農して約10年になり、日々の栽培管理を通じて知識や経験を積んできました。近年は猛暑や豪雪など気候の変化による農業への影響も感じており、これまで以上に状況に応じた対応が必要だと考えています。今年からは高密植栽培にも取り組んでおり新しい栽培方法についても学びながら実践しています。まだまだ勉強することはありますが、これまでの経験を生かし、今後も地域の農業について理解を深めていきたいと考えています。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価…　令和7年には杉高りんご支会の活動として、地域の放任園の伐採に取り組みました。放任園の問題は地域の農業にとっても大切な課題であり、今回の活動を通じて地域で協力して農地を守っていくことの重要性を改めて感じました。今後も地域の方々とのつながりを大切にしながら、地域農業の維持や発展に少しでも貢献していきたいと考えています。	りんご農家としてこれまで培ってきた経験を生かし、地域農業の維持と発展に貢献していきたいと考えています。近年は猛暑や豪雪など、気候の変化による影響も大きく、農業を取り巻く環境は厳しくなっていると感じています。また、放任園の問題や農業を担う人の減少など、地域で取り組むべき課題もあります。 　農業委員として地域の農家の方々の声に耳を傾け、日頃からコミュニケーションを大切にし気軽に相談や情報交換ができる関係を築いていきたいです。地域の実情やそれぞれの立場を理解し、周囲の方々と協力しながら課題の解決に取り組んでいきたいと考えています。 　また、農地を守り、有効に活用していくことも重要だと考えています。令和7年には、杉高りんご支会の活動として地域の放任園の伐採に取り組みました。この経験も生かし、放任園の解消や農地の適正な利用について考えていきたいと思います。 　今後は、若い世代が農業に関心を持ち、安心して農業を続けられる環境づくりも大切だと感じています。私自身も今年から高密植栽培に取り組んでおり、新しい技術を学びながら実践しています。これまでの経験を生かしながら、地域の声を大切にし、一つひとつの課題に向き合い、将来にわたって農業を続けていける地域づくりに少しでも貢献できるよう努めていきたいと考えています。									
17	窪寺　洋志	男	75	無職	S49.3 S50.3 H18.4 H22.4 H30.4～	弘前大学農学部卒業 弘前大学農学部研究課程修了 青森県農協中央会参事 JA十和田おいらせ常勤監事 青森市農業委員	中立委員の応募のため無し	－	－	－	▼応募理由…　高齢化の進展により、農地の荒廃が急速に進むのではないかと危惧されている中、「地域計画」が作成されましたが、今後この実効性が問われることになり、随時、地域住民の意見・意向を反映し見直しが必要です。 　そのためには、地域の話し合いの参加者を増やすことが不可欠となりますが、農業関係団体等関係機関との協力が欠かせないため、JAで長く働いた経験を生かし、JAとの橋渡し役を果たせればと思い立候補しました。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価…　32年間勤務したJA青森中央会では、JAの経営指導や営農指導を通して本県農業の課題と対応策をとりまとめるとともに、その実践により農家組合員の所得向上と経営管理の強化に取り組んできました。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価…　JA青森中央会において、青森市管内4JAの合併を推進し現在のJA青森の誕生に貢献するとともに、農業委員として八年間、市農地政策の達成に尽力しました。	農業者の高齢化による就業人口や担い手の減少、耕作放棄地の拡大、中山間地域農業の現状など農業構造そのものが衰退してしまうのではないかとの危機感を抱いてきましたが、農業委員に就任して青森市の農業、とりわけ農地の利用状況の実態を目の当たりにして危惧が現実のものとなっていることを実感しました。特に、不在地主が所有する耕作放棄地や都市農業の典型である財産として農地を所有している例もみられ、これらが農地を担い手に集約するうえで障害の一因となっているように思います。これらの課題を解決するためにも今回の「地域計画」の確実な実行が不可欠となります。そのためには集落毎に「今後の地域農業をどうするのか（農業にかかわらず地域全体の問題として）」について話し合いの機会を増やしていく必要がありますが、参加する人が少ないのが現状です。 　今後は、「地域のリーダー的な人材をどう確保していくのか」が大きな課題だと思います。同時に、地域の農家・地域住民・関係団体の皆が問題意識を共有することから始める必要があります。以上の観点から、JAで長年働いてきた経験を活かして、JAをはじめとした各団体との橋渡し役を果たせればと思います。									
18	豊川　明子	女	51	農業	H22.4～ H30.4～R3.3 R3.4～R6.3 R6.4～	就農 青森市農地利用最適化推進委員 青森市農業委員 青森農業協同組合理事	水田作（水稲）	水稲54ha	－	有	▼応募理由…　私は青森市で16年間にわたり稲作に携わってまいりました。近年、周囲の高齢化によるリタイヤや耕作放棄地の増加を肌で感じております。更には令和の米騒動での所得の不安定により、農業の魅力が失われつつあることに強い危機感を抱いています。これまで培った農業経営の経験と、地域の生産者仲間とのネットワークを活かし、現場のリアルな声を農業委員会に届け、地域の貴重な農地を次世代へ優良な形で引き継ぐため、このたび農業委員に応募します。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価…　稲作の年間業務全般（大型特殊自動車免許、フォークリフト運転免許保持） ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価… R3.1.1～R4.12.31　原別地区児童委員 R3.4.1～R5.3.31　東中学校PTA会長	「今耕されている農地を、耕せるうちに、耕せる人につないでいく」という当たり前のことを、しっかりステップを踏みながら取り組む事によって、集積率が伸び、大規模農家の増加、収入安定につながると思います。ここで重要な役割を果たす農業委員会に携わることによって、自分自身更なる知識の習得、新規就農者や若い農業者の登用の斡旋等、微力ながら一生懸命務めたいと考えております。よろしくお願い致します。									

受付番号	農業委員会委員候補者											推薦者								
	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		青森市認定農業者	推進委員併願	推薦・応募理由等	抱負	一般推薦				団体推薦				
					年月	職名・役職等	営農類型（主な経営作物）	経営規模					推薦者代表氏名	性別	年齢	職業	団体の名称	代表者等氏名	活動の主たる目的	構成員	
																				人数	資格・要件等
19	工藤　慎也	男	36	農業	H23.3 H23.4 H29.4～ R5.1～ R5.8～ R6.4～	青森県営農大学校卒業 就農 浪岡地区野菜機械利用組合組合長 認定農業者 浪岡農協青年部部長 浪岡地区わい化栽培技術研究会役員	水田作（水稲） 野菜作（バサラコーン） 果樹作（りんご）	水稲1,400a 野菜40a 果樹180a	該当	有	▼推薦理由…　新規就農者をはじめとする地域の農家との意見交換会など通して農家の意見を聞いて農政へ反映させるため活動している。 ▼農業に関する知識・経験に対する評価…　学卒後、実家の農家に就農し現在に至る。米とリンゴ農家であるが浪岡特産のバサラコーンに力を入れ規模拡大を図っている。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する評価…　環境整備など地域活動のリーダーである。又、PTA、子供会など地域の協力者でもある。	未熟なりにも15年農家をやってきて、色々な問題を目の当たりにしてきた。農家の高齢化や後継者不足が一番の問題であると考えるが、私1人で解決するには大きすぎる問題であるため、現状自分で出来そうな事を考えたところ、私の長所である人とのつながりで得た知識や情報を若手農家や新規就農者に共有、伝達することで若手農家や新規就農者の成長の手助けにつながるのではと考えた。さらに私自身が新しいコミュニティに参加し、最先端の技術や知識、情報を知ることでより良い成長につながると同時に私も成長できるのではないかと思う。若手農家や新規就農者が農業を開始しやすい地域だと情報が広まれば農家の件数が増え農家の高齢化や後継者不足など様々な問題解決の足掛かりになればと考えている。	福士　修身	男	76	農業					
20	佐々木　悟	男	70	農業	H30.4～ R4.4～ R6.3～ R6.4～ R7.4～ R7.4～ R7.4～ R7.7～	青森農業協同組合理事 奥内農事振興会役員 奥内土地改良区総代 奥内環境と自然を守る会役員（会計・書記） 青森市認定農業者 青森県農業共済組合総代 青森市北部地区病虫害防除実施協議会役員 青森市青森地区農業者年金協会会長	水稲	水田8.2ha	該当	－	▼推薦理由…　農業委員は、農地転用や農地に関する許認可等で土地改良区の運営上密接な関係が多いことから、本土地改良区の総代として活躍され、奥内農事振興会役員及び青森農業協同組合理事を歴任している佐々木悟氏を本土地改良区では適任者として推薦するものである。 　今後も地域農業発展のための活躍が期待できる。 ▼農業に関する知識・経験に対する評価…　永年に亘り農事振興会役員、青森農業協同組合理事として地域農業に携わる役職を務め、人脈は広く、また、地域の農家の事情を把握し高齢農家からの相談を受けたり、リタイヤ農家へ手を差し伸べる等の行動には信頼が厚い。これら地域農業で培われた経験や知識は非常に豊富である。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する評価…　地域で取組んでいる奥内環境と自然を守る会の役員を務め農業者と地域住民の結束に尽力し、地域発展のための活動に寄与している。この実行力や行動力は、リーダーとしての力の豊かさである。	農業経営が厳しい中で、農業・農村の代表として農業者の農地維持・生産・販売の向上、又、遊休農地の解消・新規農業者の育成確保、担い手農業者の農地利用・集積で農地の減少確保に努め、情報の収集・提供をして農業者の生活向上に努めます。				奥内土地改良区	理事長　溝江　幸敏	農地の基盤整備・農業水利施設の維持管理	659	主に水田の所有者又は耕作者
21	野口　友子	女	71	無職	S49.4.1 ～S55.6.1 S55.11.4 ～S56.11.10 S58.9.14 ～H2.2.21 H2.9.1 ～R2.9.30 R3.4.1～	株式会社東京都民銀行自由が丘支店 （現在：きらぼし銀行） キング工業株式会社青森支店 株式会社アルファ青森支店 （昭和61年10月1日アイチに社名変更） 青森明の星短期大学事務職 （総務課長・学生課長・教務課長・学生寮副寮長） 青森市農業委員	中立委員の応募のため無し	－	－	－	▼応募理由…　第一次産業（農業・畜産業・林業・漁業）は私たちの生活に必要な産業ですが、現況すべて減少傾向にあります。特に農業は自然環境に左右されるため収入の安定が難しく、設備投資負担も大きくなります。担い手不足はどの業種も同じですが、どのようにしたら「私たちの食の確保＝食糧自給率向上」のために農業人口を増加させられるか頑張りたいと思います。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価…　総会・大会に出席したおかげで、理解できるようになりました。農業新聞・テキストも参考にしています。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価…　市民大学同級生・センター講座受講者等色々な場所で声掛けしています。農地確保のため「家庭菜園」・「農地面積」・「米の価格」など分かる範囲で説明をしています。	農業が衰退している原因として、1．深刻な高齢化と後継者不足　2．収入が不安定　3．都市部への若者流出　4．過酷な肉体労働　等が考えられます。そのためには、市・県より国の方向性が重要不可欠です。農業の魅力は、自分の手で一から農作物を育てられる。収穫するまでには長い時間と手間がかかりますが、さまざまな苦労を経験して収穫する楽しさをぜひ覚えてほしい。食の安全性を考えると「国産品」を購入したい人が多くいると思います。本当に農業人口を増やし、そのために出来ることは協力や応援したいです。								

受付番号	農業委員会委員候補者										推薦者								
	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		青森市認定農業者	推進委員併願	推薦・応募理由等	抱負	一般推薦				団体推薦				
					年月	職名・役職等	営農類型（主な経営作物）	経営規模					推薦者代表氏名	性別	年齢	職業	団体の名称	代表者等氏名	活動の主たる目的	構成員	
																				人数	資格・要件等
22	三上　紘史	男	35	農業	H22.4～ H29.9～R3.8 H30.2～ H30.4～R6.3 R6.4～	就農 浪岡川土地改良区理事 青森県青年農業士 青森市農地利用最適化推進委員 青森市農業委員	水田作（水稲）	60ha	該当	－	▼応募理由…　年々地域内の農地が耕作放棄地や遊休地となっていくなかで、担い手への集積と新規参入の促進を図ることが必要と思っており、なかでも優良農地が荒廃していく現状を垣間見ると、今すぐにでも対策をとらなければと考えており、そのためには有効利用の意義、重要性を地域住民と共有することが重要と思われることから、日頃から情報を発信するとともに、担当農地利用最適化推進委員と連携しながら農地の出し手や受け手の意向などの情報収集に努め、担い手の発掘とともに育成を進め地域農業の発展維持に努めていきたい。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価…就農してからたくさんの人からアドバイスを頂き、勉強してきました。青森県の見本となるような農業経営者を目指します。 　今後は今までの経験を活かし生産者としての技術や経営者としてのノウハウを新規就農者に伝えていきたい。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価…　農地・水・環境保全の重要性が増している中で、農村地域維持のための国の交付金事業である多面的機能支払い交付金の地域推進委員として活動しており、農地利用最適化の推進に熱意と識見を有しております。農業委員の職務を適切に行うことができるものと思いますので、応募いたします。	地域農業を支えるため、浪岡川土地改良区理事や青森県青年農業士及び青森市農地利用最適化推進委員としてのこれまでの経験を活かし、農地の有効利用の意義及び重要性を地域住民に伝えるとともに、新規参入者の促進を図り、農地の遊休化の防止に努めていく。									
23	前田　康弘	男	63	農業	H2.4.1～ H7.2.1～ H7.7～ H25.2～H31.1 H25.2～H31.2 H31.2.21	就農 認定農業者 家族経営協定を締結 青森市認定農業者協会会長 青森県農業経営者協会監事 青森県農業経営者優良農業者表彰	水田作（水稲） 果樹作（りんご） 野菜作（トウモロコシ）	水稲760a 果樹30a 野菜10a	該当	－	▼応募理由…　農家の高齢化や後継者不足によって農業を続けられなくなり、廃業することで発生する「耕作放棄地」は、青森県だけでなく日本全国で課題になっている。日本の食料自給率の低下にもつながるため、水稲整備などの事業を推進し、耕作放棄地の課題解決に取組んでいきたいと考えている。 　そのためには農作業における人員確保は重要課題であり、水田作だけでなく、りんご・野菜作業に従事する人材を継続雇用するための魅力ある農業施策に取組みたいと考え応募した。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価…水田作を中心に行う中で、平成15年3月に生産工程管理者に関する講習会を受講し、生産工程の見直しや管理の徹底に取組んでいる。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価…　りんご農薬の予察や、野沢地区の水田の整備事業の推進をしている。	個人の新規農業従事者が青森市で就農しやすい環境をどのように構築していくかという大きな課題に取組んで行きたいと考えている。								
24	中村　美喜雄	男	62	農業	S60.4 H24.4～ H24.7～ R3.4.1～ R3.8.16～ R5.12.22～ R6.9～	就農 北友集落協定組合長 青森県農業共済組合ひろさき支所果樹損害評価委員 青森市農業委員 青森農協北中野りんご部会部会長 認定農業者 青森農協りんご部会連絡協議会副会長	果樹作（りんご）	果樹270a	該当	－	▼応募理由…　これまで農業委員を2期務めてきましたが、一番の課題は耕作放棄地の発生ではないかと感じました。放棄地が発生すると復元するには年月と労力がかかり簡単にはいきません。農地の引き継ぎを誰に、どのようにするのか大事になると思います。（担い手へ集約、新規就農、第3者継承など）農地に関する相談も増えていると感じ、地域に根ざした農業委員として、課題に取り組みたいと思いました。又、農業者年金の重要性を痛感し、若い人への説明やPR等で加入、推進にも取り組みたいと思い応募しました。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価…就農して約40年、りんご栽培を続けています。研修会、講習会に参加し技術向上に努めています。研修生の受け入れも積極的に行っています。経験や栽培技術は常に伝えています。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価…　集落協定やりんご部会などの農業組織、町内会等の事業にも積極的に企画・参加しています。農業委員としても認識されてきていると思います。	農業を取り巻く環境は高齢化による離農、それに伴う耕作放棄地や放任園の増加など課題もあります。しかしながら規模拡大したい農業者、高密植りんご栽培をやってみたい若手農業者、新規農業者もいる事も事実です。そのような農業者の為にも、農地を見守る農業委員ではなく、農地を動かす委員となり、担い手への集積、集約、遊休農地の発生防止、解消、新規参入の促進に努めたいと思います。又、課題解決には先輩、後輩問わず、各世代の人が地域農業について共通認識をもって、営農することも大切であり、私が各世代の調整役として活動していく覚悟です。農地が守られ、有効活用され、青森市の農業発展に貢献したいと思います。								

受付番号	農業委員会委員候補者											推薦者								
	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況		青森市認定農業者	推進委員併願	推薦・応募理由等	抱負	一般推薦				団体推薦				
					年月	職名・役職等	営農類型（主な経営作物）	経営規模					推薦者代表氏名	性別	年齢	職業	団体の名称	代表者等氏名	活動の主たる目的	構成員	
																				人数	資格・要件等
25	石村　英康	男	42	農業	H17.3 H17.4 H18.4 H26.1～R8.2 R2.4 R3.9 R4.2 R5.5 R8.3	青森高等技術専門校修了（造園課） 就農・認定農業者 黒石地区4Hクラブ会長(1ヶ年) りんご協会杉高支会副支会長 浪岡川土地改良区水利調整委員 浪岡川土地改良区総代 青森市認定農業者協会副会長 青森市農地利用最適化推進委員 りんご協会杉高支会支会長	水田作 （水稲） 果樹作 （りんご）	田34ha 樹園地 1.5ha	該当	有	▼応募理由…　農地利用最適化推進委員として1期半程経験した中で、地元地域のみではない耕作放棄地や高齢化等に伴う担い手不足を解消する為に、地区にとらわれることのない農業の発展を進めたいと思います。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価…米穀の農産物検査員として知識を身に付け、米の生産に関する知識・経験に役立てて地域の農業者との情報共有等をしている。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価…　町内会役員や水利組合役員等として地域活動に参加・協力したり、小学校の学校水田を活用した農業体験を実施している。	推進委員として担当地域での活動を通していく中、離農や後継者がいないなどで耕作放棄地や放任園が発生したりする現状を改善に向けて、担い手や新規就農者を育成したり確保することで農地を有効に活用できればと思います。 又、この問題は地区のみならず地域全体で農業発展に向けた取組として推進していければと考えます。								
26	山田　正樹	男	63	専業農家	H7.10 H25.10 H25.11 H25.12 H26.4 H30.4 R3.4 R4.4	青森市へUターン 広告代理店㈱協同入社　営業部課長 ㈱協同退社 専業農家に転向 第15回米・食味分析鑑定コンクールにおいて特別優秀賞受賞 担い手認定農業者資格取得 八ツ役地区ほ場整備組合役員・事務局長 農地利用最適化推進委員　就任 青森市農業委員　就任 八ツ役地区ほ場維持管理組合　組合長　就任	水稲 『青天の霹靂』以外はすべて消費者に直接販売している。イタリア米カルナローリの栽培にも成功、首都圏レストランとの取り扱いが始まった。量より質をモットーに良食味米づくりに挑戦している。	水稲　田 30ha	該当	－	▼応募理由…　農業従事者の高齢化や農産物の価格低迷、人口減少などの要因による消費の減少、就農者減少、耕作放棄地の増加、規模拡大など、現状の日本の農業が抱える問題は多肢にわたる。地元に密着しながら強い農業づくりや問題解決のために微力ながら協力したいと考えたため。 ▼農業に関する知識・経験に対する自己評価…専業農家としての経験も知識もまだまだ浅いが、日々研究に努め、先輩農家や友人農家から知識や情報を吸収し研鑽しているところである。 ▼地域における活動など、これまでの活動に対する自己評価…　地元 八ツ役地区ほ場維持管理組合の組合長として、地元農家との交流、親交を深め、土地利用やほ場の維持管理の取り組みに従事している。	地元農家が抱える問題のひとつとして大規模化を推進するための農地の担い手への集積があると思うが、必ずしも効率的な対策がとれていないような気がしている。貸し手と借り手の情報収集とマッチングシステムなどについて研究提案していきたい。 また専業農家に転向する前のこれまでの一般企業での経験（商社、広告代理店）つまり商品の売込み営業のスキルや商品のブランディング、イメージ戦略、デザイン、広告戦略など、地元農業が抱える問題解決など何かに活かせればと考えている。 今後とも地元就農者の担い手のひとりとして期待に沿えるよう鋭意積極的に活動していきたい。								